

平成23年10月9日

No. 88

10月7日付の新聞で9月の県内の景気動向調査によると、全企業
の景況感を示す景気判断DI(指数)は前月と同じ04.2(全国35.5)
となった。04月連続で改善していたが「消費が復調していないなど
一服感がみられる」業界別では、台風の災害復旧工事の「建設」、東
日本大震災による生産分の取戻しが活発な「製造」、需要が回復してきた
「サービス」の3業界が回復、消費不振の「小売り」など3業界は悪化。
大企業は2.4ポイント増、中、小企業は、0.4ポイント減、小規模企
業は、1.0ポイント増と4か月連続で改善した。先行き見通は悪化。
歴史的な円高の定着、欧米の景気低迷を受けて「先行きは期待
感よりも警戒心を抱くようになったのではないか」

県内倒産件数は、上期(4~9月)前年同期比で22件多い153件
(負債総額1000万円以上)、業種別では製造業が13件増の46件、全
体の80%を占めた。西部は5件増の48件。「震災の影響は一段落
したと見ているが、今後とも息切れる倒産が増加する傾向にある
としている。

全般的には、依然厳しい環境であり、リーマンまで良かった企業が
回復し、以外の企業は、円滑化策の融資で資金が回っただけで、厳
しいままです。しかし、リーマンショック関係なしに業績の良い企業も
あります。業種関係なしに良い会社、悪い会社があります。良い企
社は何をしているか、みんながやらないことをやっている。めん
どくをいって思うことをやっている。不可能だと思っ、いることを可能
にする。会社の現実をつかむ決算書(真実)をつくり、基本動作
(あいさつ・整理・整頓・報連相)、一人三役主義の連携プレー
(少数精鋭)等、業績が良い(なる)原理原則も徹底してやる努力
をしていると思います。楽しくおかしく、工夫しやり洗ける。倒産は
社会にとって一番の悪です。

高林幸裕